

「珪藻土革命」
藻々太郎

施工説明書

平成22年09月22日改訂



〒379-2153 群馬県 前橋市 上大島町88-14
Tel:027-290-2319 Fax:027-290-2867
<http://natur-j.jp>
E-Mail:info@natur-j.jp

目 次

藻々太郎の仕様	-----	P 1
施工前に必ずお読みください	-----	P 2
安全上のご注意	-----	P 2
施工上のご注意	-----	P 3
石膏ボードの正しい張り方	-----	P 4
藻々太郎の施工手順(下地処理)		
【内装】石膏ボード下地の場合	-----	P 6
【内装】モルタル下地の場合	-----	P 7
【内装リフォーム】ビニールクロス貼の場合 (石膏ボード下地)	-----	P 8
【内装リフォーム】ビニールクロス貼の場合 (コンクリート下地)	-----	P 9
藻々太郎の施工手順(仕上材)	-----	P 10
冬季施工のご注意	-----	P 11
今後に生かす失敗例	-----	P 12

仕様
【藻々太郎】

品名	カラー	入目	施工方法	施工厚 施工面積	基準水量
ナトゥア・ホワイト	ホワイト	15kg/袋	コテ塗り	1.5 ~ 2.0mm 10.0 ~ 12.0㎡/袋	9.0 ~ 10.0L
ナトゥア・クリーム	クリーム				
ピュアグリーン	グリーン				
ピュアピンク	ピンク				
モカブラウン	ブラウン				
稲荷山	ベージュ				

季節・現場条件により異なりますのでご注意ください。

専用ジョイント材(PJ) [目地材]

入目	施工方法	施工厚 施工長・面積	基準水量
5kg/袋	左官(コテ塗り)	50m/袋・50㎡/袋	HYMJ3倍液 2.0 ~ 2.5L

用途による違いがありますのでご注意ください。

下地調整材(ST)

入目	施工方法	施工厚 施工面積	基準水量
10kg/袋	左官(コテ塗り)	0.8 ~ 1.0mm 10.0㎡/袋	清水 4.6L

アク止め・シミ止め材(KS-1)

入目	施工方法	施工厚 施工面積	基準水量
5kg/袋	左官(コテ塗り)	0.4 ~ 0.6mm 7.0㎡/袋	清水 2.2L

KS-1は必ず30分の練り置きをしてください。練り置きしないと、アク止め・シミ止めの効果が出ません。

専用ジョイント液(HYMJ)

入目	施工方法	施工厚 施工面積	基準水量
4L/缶	ハケ / ローラー	150㎡/缶	—————

PJシーラーの作り方

PJ	施工方法	施工厚 施工面積	HYMJ3倍液
5kg	ローラー塗り		5.0L

PJ1kgとは、400ccの勺でおよそ2杯分です。

ダマにならないように攪拌機でよく練ってください。

施工前に必ずお読みください

藻々太郎は湿式の材料です。

施工後のトラブル防止のため下地の状況に不安がある場合は、必ず工事管理者と打合せていただき不良箇所を手直したうえで施工してください。

藻々太郎はアルカリ性ですので、施工箇所以外は材料が付着しないよう養生シート・テープ等で必ず養生してください。アクが出たり、木の黒変・メッキのはがれが生じるおそれがあります。

フローリングなどにもご注意ください。

養生テープは上塗材を塗付けた後、早めに取り外してください。

藻々太郎施工後、乾燥するまでに、室内温度が15℃以下になる場合の施工は避けてください。やむを得ず施工する場合は温度管理を厳重に行ってください。

練り水の量を誤ると、色ムラ・クラックが生じやすくなりますので、基準水量を厳守してください。

季節・気候による影響がありますので、基準水量をもとに現場で微調整を行ってください。

練り水には、水道水 またはこれに準じる清水を使用してください。

下地のムラ乾きに注意してください。ひび割れ・色ムラの原因になります。

一作業面は一度に混練りし、塗り継ぎは避けてください。

藻々太郎は配合素材に石灰を使用しています。

このため仕上の際、仕上面に水を与えると、色ムラになりますのでご注意ください。

製品をより良くするため、研究開発を行っております。

そのため予告なく改良することがございますのでその旨ご了承ください。

指定の用途、方法以外にご使用の場合は保証しかねますので、ご注意ください。

安全上のご注意

【応急措置】

目に入らないようご注意ください。誤って入った場合は、速やかに清潔な水で洗眼し、医師の診断をうけてください。

鼻から吸引しないようご注意ください。誤って吸引した場合は、速やかに水または温水でうがいをし、気分が悪くなったときは医師の診断をうけてください。

口に入れないようご注意ください。誤って飲み込んでしまった場合は、速やかに大量の水を飲んでのどの奥を押し出して吐き出した後、医師の診断をうけてください。

皮膚につけないようご注意ください。誤って付着した場合は、アルカリ性が強いいため手があれることがありますので、石鹸および大量の水で洗い流してください。

【輸送・保管上のご注意】

運送に携わる方も、取扱いにご注意ください。取扱い後は手洗い・うがいを行ってください。

製品の破袋・荷崩れ、または降雨などによる水濡れにご注意ください。

飛散した粉体は、速やかに掃除機等で回収してください。

作業者は保護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。取扱い後は手洗い・うがいを行ってください。

直射日光の当たる場所、湿気の高い場所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)での保管はさけてください。

製品のお取扱いはセメントと同様をお願いします。湿気のないところに保管し、開封後は使い切ってください。

開封後の製品及び練った後の材料の廃棄は、産業廃棄物として適切な処理をしてください。

施工上のご注意

ジョイント処理には必ず弊社の専用ジョイント材(PJ)をご使用ください。

市販のパテ材を使用するとクラックの発生や色ムラ、ファイバーテープが透けて見えてしまう場合があります。仕上材は基準水量を必ず守ってください。色ムラやテカリ、粉浮き、ダレの原因になります。

混練りした材料の長時間放置は避け、使用道具は早めに水洗いしてください。

色が違う材料を使用する場合は、必ず道具をよく洗ってください。

色が少しでも残っていると、色ムラの原因になります。

釘など錆の恐れのある箇所には、錆止めを施してください。

本品は天然素材が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。

施工後は、水分の蒸散により結露しやすくなりますので、できるだけ通風に配慮し、自然乾燥を行ってください。

急激な乾燥・通風はひび割れの原因になりますので、避けてください。

藻々太郎施工後、室温が15℃以下になる恐れがある場合は、乾燥が遅く白華発生および凍害の原因となりますので、施工を中止するか、やむを得ず、施工する場合は温度管理を厳重に行ってください。

(11ページ 冬季施工のご注意 参照)

白華について

消石灰は水にわずかですが、溶解します。

(20℃では1Lの水に対し、およそ1.7g溶解)

この溶解した消石灰は水分蒸発に伴い析出し、空気中の炭酸ガスと反応し、炭酸カルシウムとなります。

この炭酸カルシウムの生成を白華といい、特に着色した際には壁表面に白い粉を吹いて、華が咲いたように見える現象を指します。

図1は各温度での消石灰の溶解度を示したものであり、特に低温域において溶解が著しくなることを示しています。

このことは、冬季に白華が起きやすいことを示しており、冬季における消石灰系左官材料の施工は避けるのが一般的です。

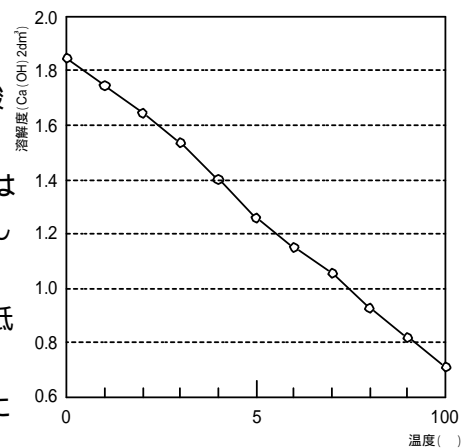


図1 消石灰の溶解度曲線

1) National Lime Association, Chemical Lime facts (1964)

藻々太郎に消石灰を配合している訳

【消石灰を配合する利点】

消石灰は、空気中の炭酸ガスと反応して年々硬くなっていきますので、経年劣化の心配がありません。

表面の強度も硬くなるので、ポロポロ落ちることはありません。

(表面が弱いと、ポロポロ落ちやすく微粉末が舞う場合があります。)

消石灰を入れることによってアルカリ性になるので、カビ対策にも効果を発揮します。

【消石灰を配合する欠点】

寒い時期に施工すると、白華現象が起きる場合があります。ただ、乾くまでのあいだ採暖して部屋を暖めれば白華現象は起きにくくなります。

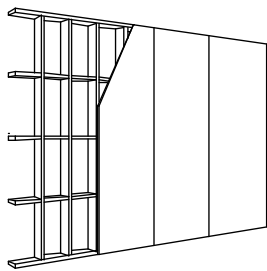
石膏ボードの正しい張り方

木造下地における石膏ボードの貼り方 (JASS15 左官工事 4節 4.3 せっこうボード下地に準拠)

石膏ボード下地や合板下地の上に左官材料を施工した場合に起こる不具合の大半は、板と板との継目(目地部)に集中しています。

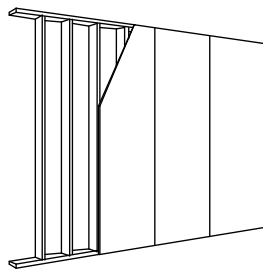
石膏ボードも合板も、吸湿・乾燥にともなって、変形(反り・伸縮)をしようとしますが、その力は大変強力です。板の固定が不十分だと、この力の大部分が目地部にかかってくるため、仕上塗材に亀裂や膨れあがが生じてしまうことがあります。このような事故を防ぐために、板はしっかりと固定しておくことが大変重要です。

理想的な下地



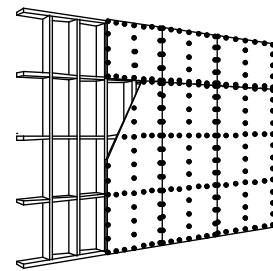
縦横の受木がある上に、ボードの継ぎ目が少ない。

横受木が無い場合

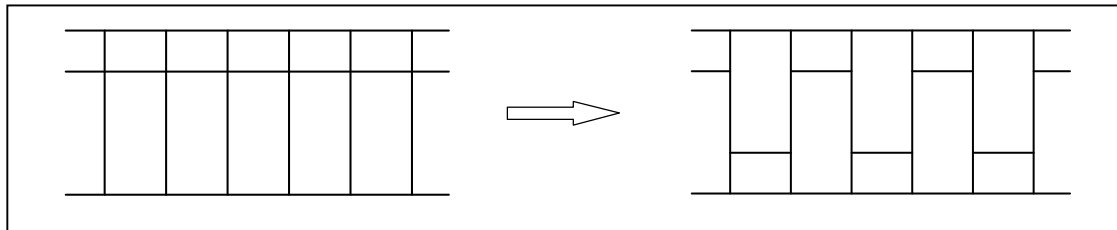


必ず、天地方向を1枚で仕上げ、横継手を作らないようにします。

ボードの天地が足りない場合

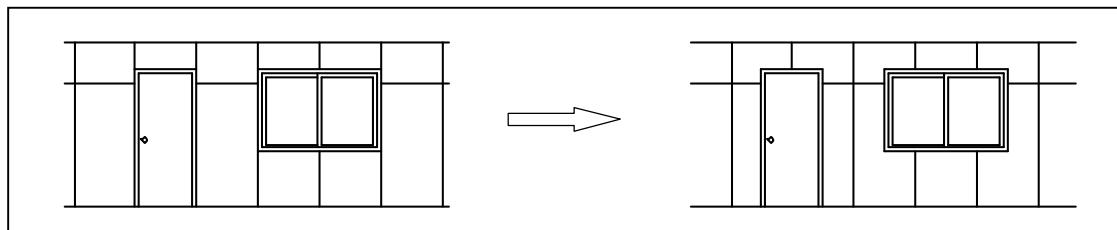


必ず、横受木の上で継ぎ足し、横継手もビス止めしてください。ビス間隔15cmピッチ程度。



縦横に目地が通ると、ボードのジョイントが動きやすく、クラックが発生しやすい。

ボードをお互い違いに貼ると、横の目地が通らなくなり、クラックが発生しにくい。



ボードのジョイントがドア・窓の縦枠の延長上に来た場合、クラックが発生しやすい。

ボードのジョイントをドア・窓の縦枠の延長上に来ないようにする。

直張り工法における石膏ボードの貼り方

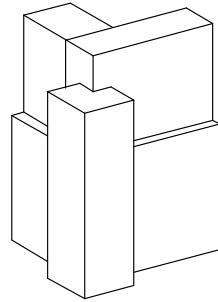
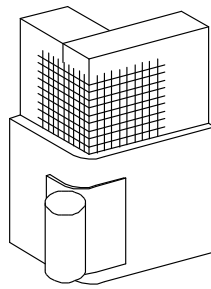
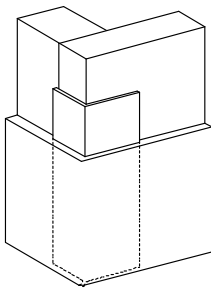
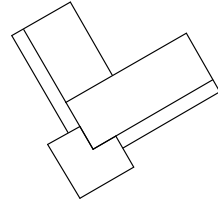
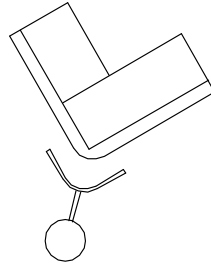
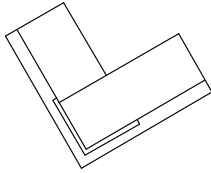
(社)石膏ボード工業会「せっこうボード直張工法標準仕様」に準拠してください。

出隅・入隅の処理方法

左官材料を使用した場合、出隅・入隅の処理が必ず問題になります。

下記のような処理を施すと、施工後のキズ・欠けの危険が少なくなります。

【出隅】

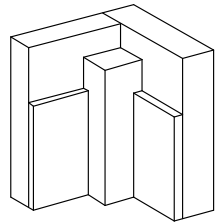
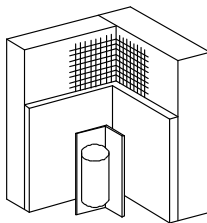
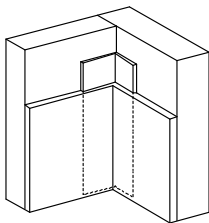
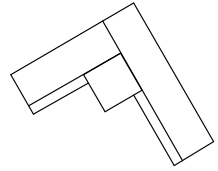
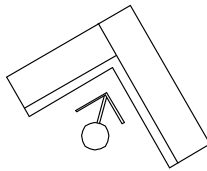
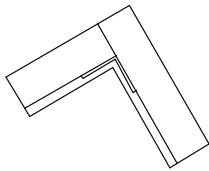


既製品のコーナー定木を先に取付ます

コーナーの部材を入れたくない場合は、
コテなどで仕上ます。
グラスファイバーテープは、コーナー部で折り曲げて
使用してください。

図のような見切り材を使用して仕上ます。
通路等、通りの多いところに、おすすめです。

【入隅】



既製品のコーナー定木を先に取付ます

コーナーの部材を入れたくない場合は、
コテなどで仕上ます。
グラスファイバーテープは、コーナー部で折り曲げて
使用してください。

図のような見切り材を使用して仕上ます。
通路等、通りの多いところに、おすすめです。

現場養生

藻々太郎はアルカリ性ですので、施工箇所以外は材料が付着しないように養生シート・テープ等で必ず養生してください。アクが出たり、木の黒変・メッキのはがれが生じる恐れがあります。

フローリングなどにもご注意ください。

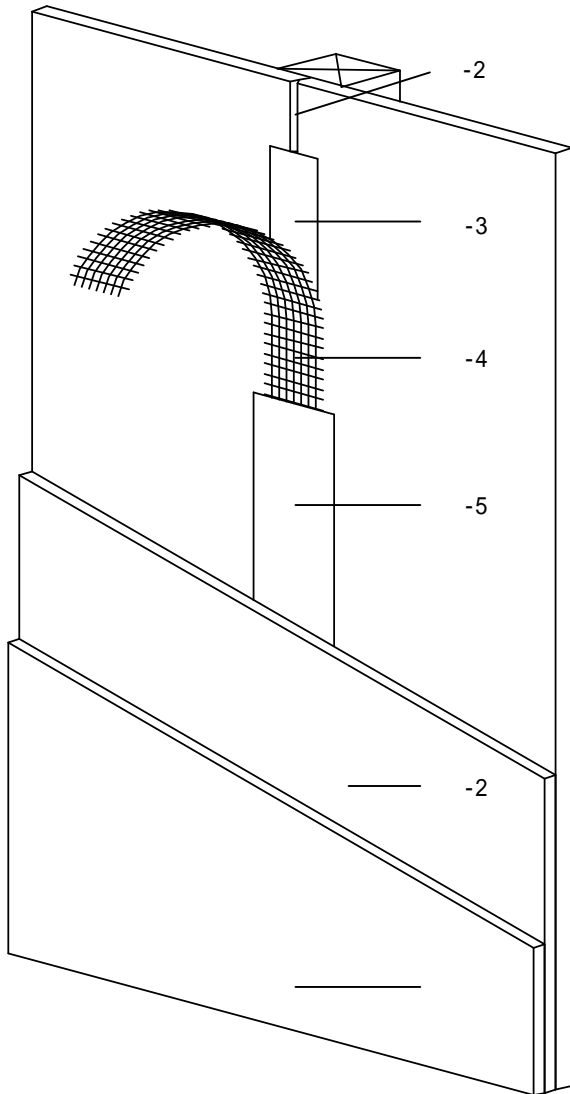
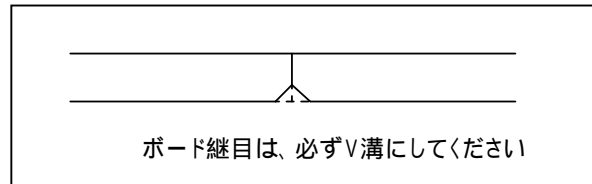
チリ廻り・粹廻り・巾木等の養生を十分に行ってください。

養生テープは仕上材の塗厚分の隙間をあけて貼ってください。

養生テープは仕上材を塗ったあと、早めに取り外してください。

藻々太郎の施工手順(下地処理)

【内装】石膏ボード下地の場合



目地(継目)処理 乾燥

1. 準備

- ・バケツ(20L程度)
- ・攪拌機
- ・専用ジョイント材(PJ)
- ・HYMJ3倍液
(専用ジョイント液 1Lに対し清水を2Lで混ぜたもの)
- ・グラスファイバーテープ

2. 水引の調整をする

- ・石膏ボードの切り口(出隅・入隅・ジョイント部)やせっこうが露出している箇所は水引が激しいため色ムラ・ひび割れをおこします。前項で用意したHYMJ3倍液をハケで、たっぷり塗ってください。

3. 1回目のジョイント処理

- ・専用ジョイント材(PJ)1kgあたり前項で用意したHYMJ3倍液を400ccでダマにならないように攪拌機でよく練り、Vカット部分に詰め込みビス頭も処理して乾燥させます。
(専用ジョイント材(PJ)1袋につき、2.0LのHYMJ3倍液が必要です。)

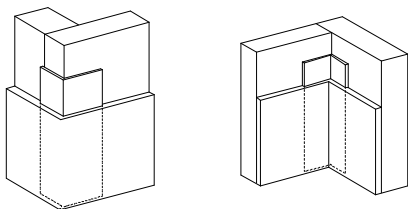
4. 市販のグラスファイバーテープを使い補強してください。

5. 2回目のジョイント処理

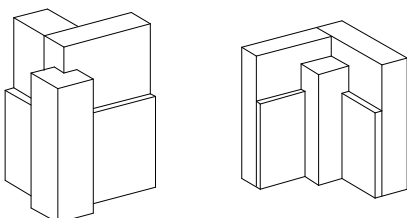
- ・専用ジョイント材(PJ)1kgあたり前項で用意したHYMJ3倍液を500ccでダマにならないように攪拌機でよく練り、グラスファイバーテープを隠すように15~20cmの巾広に塗り、よく乾燥させます。
(専用ジョイント材(PJ)1袋につき、2.5LのHYMJ3倍液が必要です。)
- ・乾燥が悪い場合、色ムラになりますので、完全乾燥させてください。
- ・ジョイント材がやせてしまったら、再度塗ってください。

出隅・入隅についても、4・5の処理を施します。

左下図のような、処理を行うとひび割れ等の危険性が少なくなります。



コーナー定木による処理



見切り材による処理

下地調整材(ST) 乾燥

藻々太郎はプasterボード直塗が可能です。下地調整を行うと、よりきれいに仕上げることができます。

1. 下地調整材の準備

- ・練り水(清水)を用意します。
(下地調整材(ST)1袋につき、清水 4.6L必要です。)
- ・バケツに4.0Lの清水を入れ、STを加えながら、良く攪拌します。
- ・残りの清水を加えながら、練り加減を調整してください。

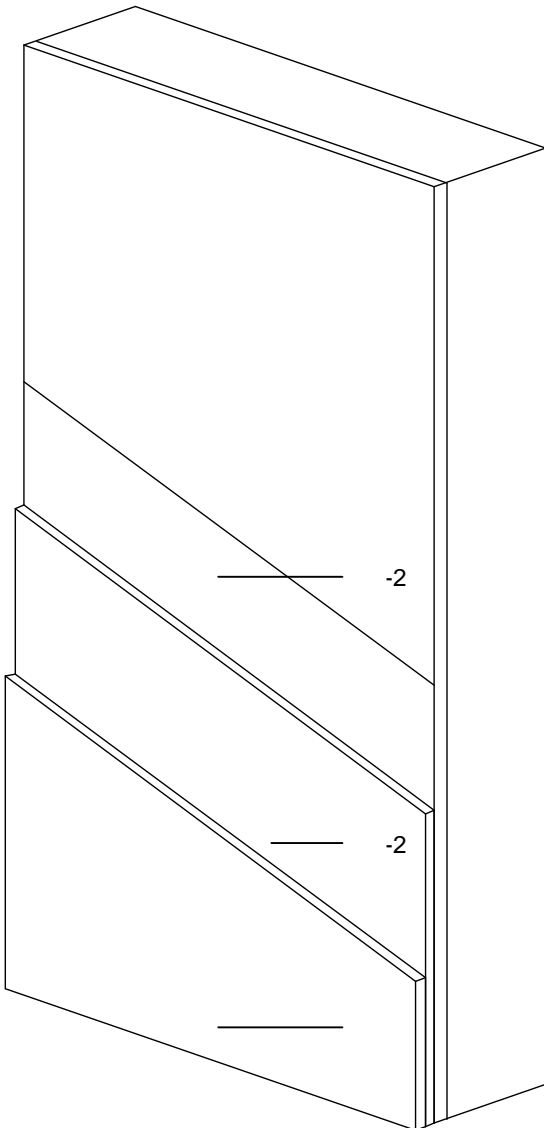
2. 下地調整材を塗ります。

- ・塗り厚を約1.0mmでしごき塗りし、均等に仕上げてください。

仕上材 乾燥 完成

藻々太郎の施工手順(下地処理)

【内装】モルタル下地の場合



モルタル下地施工時にラス網を使用してください

シーラー材 乾燥

モルタル面のひび割れの確認と水引の調整を行います。

1. 準備

- ・ アクリルシーラー(市販品)3倍液
(アクリルシーラー原液 1Lに対し清水を2Lで混ぜたもの)

2. アクリルシーラーを塗ります

- ・ 前項で用意したアクリルシーラー3倍液を、ローラー・ハケで塗ります。

3. ひび割れを確認した場合は、すみやかに補修を行ってください。

4. 補修を行った部位は、再度アクリルシーラー3倍液を塗布してください。

アクリルシーラー推奨品
高圧ガス工業(株)
混入塗布モルタル接着増強剤「エマタック」
F

下地調整材(ST) 乾燥

1. 下地調整材の準備

- ・ 練り水(清水)を用意します。
(下地調整材(ST)1袋につき、清水 4.6L必要です。)
- ・ バケツに4.0Lの清水を入れ、STを加えながら、良く攪拌します。
- ・ 残りの清水を加えながら、練り加減を調整してください。

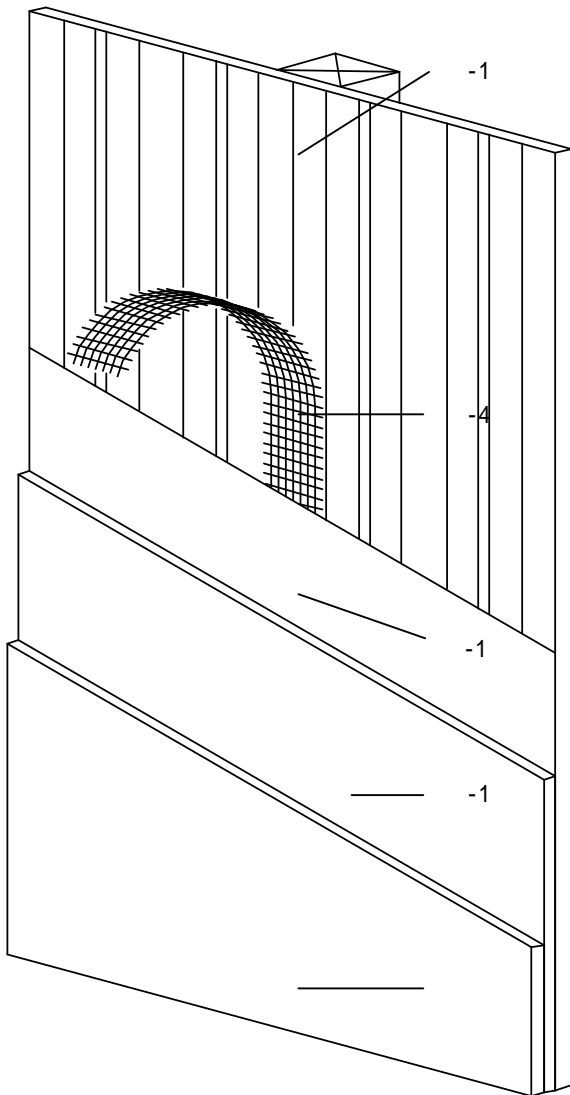
2. 下地調整材を塗ります。

- ・ 塗り厚を約1.0mmでしごき塗りし、均等に仕上げてください。

仕上材 乾燥 完成

藻々太郎の施工手順(下地処理)

【内装リフォーム】ビニルクロス貼(石膏ボード下地)の場合



ビニルクロスの下地処理 乾燥

1. ビニルクロス表面を、中性洗剤を含ませたタオルで拭き、汚れを落としてください。(中性洗剤を水で50～60倍に薄めます。)
 - ・ビニルクロスがしっかり下地についているか確認してください。
2. 剥がれかかった箇所は、カッターで切り落としてください。
3. タッカーでビニルクロスをしっかりとめ直してください。
 - ・通常部分で10cmピッチで、継目部分は3cmピッチでとめてください。

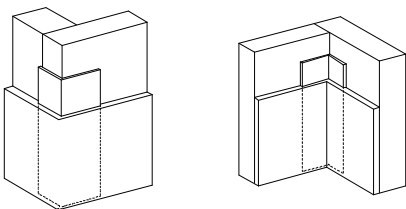
アク止めシーラー 乾燥

1. アク止めシーラー剤(市販品)を塗ります。
 - 使用仕様方法等は、アク止めシーラー剤説明書に従ってください。

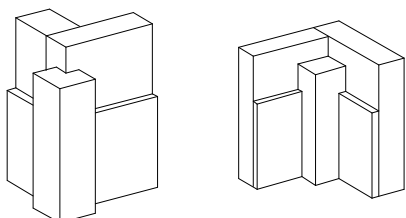
PJシーラー 乾燥

1. 仕上材の食付きを良くするため・下地の透け防止のためにPJシーラーを塗ります。
 - ・専用ジョイント材(PJ)1kgあたり前項で用意したHYMJ3倍液を1Lでダメにならないように攪拌機でよく練り、全体にローラーで塗ります。(PJ1kgとは、400ccの勺でおよそ2杯分です。)

仕上材 乾燥 完成



コーナー定木による処理



見切り材による処理

藻々太郎の施工手順(下地処理)

【内装リフォーム】ビニールクロス貼(コンクリート下地)の場合

ビニールクロスを剥がす

1. ビニールクロスを、剥がします。
2. ビニールクロスの裏紙がコンクリートに付着しているので、きれいに剥がしてください。

水引の調整 乾燥

1. HYMJ3倍液
(専用ジョイント液 1Lに対し清水を2Lで混ぜたもの)
2. HYMJ3倍液をローラー・ハケでたっぷり塗ります。

アク止め・シミ止め(KS-1)処理 乾燥

1. 準備
 - ・バケツ
 - ・攪拌機
 - ・アク止め・シミ止め材(KS-1)
 - ・清水
2. アク止め・シミ止め材(KS-1)を塗ります。
 - ・バケツに標準水量の9割(2.0L)の清水を入れます。
 - ・アク止め・シミ止め材(KS-1)を入れ、水が十分いきわたるように、よく混ぜてください。
 - ・そのあと、残りの1割(0.2L)の清水で、粘度調整してください。

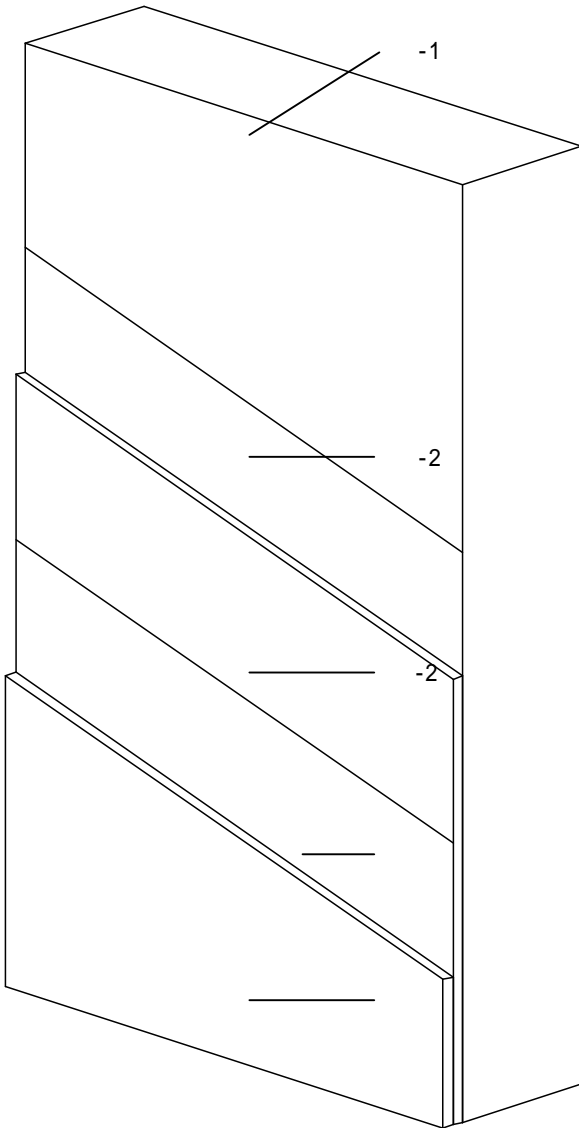
KS-1は必ず30分の練り置きをしてください。

 - ・左官(コテ)で施工してください。

アク止めシーラー 乾燥

下地の種類によって、まれにアクやシミが出る場合があります。
万が一、アクやシミが出たときは、アク止めシーラー(市販品)を施工してください。

仕上材 乾燥 完成



藻々太郎の施工手順(仕上材)

【準備】

- ・ 混合用バケツ(30L程度)
- ・ 計量バケツ
- ・ 攪拌機
- ・ 練り水
- ・ 藻々太郎

【練り方】

バケツに練り水(基準水量最少量)を入れます。

攪拌機を動かしながら藻々太郎をすべて加え、必ず5分以上攪拌し、均一なペースト状にしてください。

その後、施工方法にあった粘性まで、基準水量内で加水し、練り上げてください。

水量の調整は±0.5Lで行い、最初に決定した水量を施工途中で変更しないでください。

水量の変更は、色ムラ・質感の違い等の原因になります。

約5分間、練り置きをして施工直前に再度攪拌機で2分間練り直してください。

施工途中に材料が締まってきたら、水を加えずに攪拌機で練り直してください。もとの硬さに戻ります。

混練りした材料は、当日中に使い切ってください。

基準水量は、必ず守ってください。

水を入れすぎると、色ムラ・クラックが生じやすくなってしまいます。

同じ道具で違う色の材料を使用する場合は、必ず道具をよく洗ってください。

前の色が少しでも残っていると、色ムラの原因になります。

【仕上 / コテ塗り】

- ・ 塗り付けは、1回塗りを基本とします。
- ・ 一度しごき塗り後、追っかけで標準施工厚に塗り付けてください。

最重要事項

- ❗ **基準水量は必ず守ってください。**
(特に水が多いのは、絶対にダメです)
- ❗ **攪拌時間は確実に守ってください。**
 - ・ 攪拌5分
 - ・ 練り置き5分
 - ・ 施工直前の再攪拌2分(再攪拌時に加水には必要はありません)

藻々太郎は自然素材100%でできています。

稚内層珪藻頁岩については77%も含有されています。

この珪藻頁岩、水を行きわたらせるには、ある程度の時間が必要なのです。

攪拌時間(5分)と練り置きの時間(5分)

その時間がないと、水が行きわたらず、機能が発揮できないのです。

冬季施工のご注意

～冬季に施工する前に必ずお読みください～

珪藻土が持つ機能を最大限に発揮させるため、またより安全な製品のご提供を心がけ、石油化学原料はいっさい使用していません。

このため、冬季に施工する場合には、伝統的な左官材料に特有な、白華・色ムラ・粉浮きのおそれがあります。

より精度の高い施工品質を保つため、以下の注意点を御守りいただきますようお願いいたします。

尚、ご不明な点は、施工前に弊社までお問い合わせください。

1. 温度について

藻々太郎施工後乾燥するまでに、室温が15℃以下になる恐れがある場合は、乾燥が遅く白華発生および凍害の原因となりますので、施工を中止するか、やむを得ず施工する場合は温度管理を厳重に行ってください。

施工前に室内を暖めてください。順調な乾燥には15～20℃の室内温度が最適です。

特に1日の中で室内の最低温度が15℃以下になる場合は乾燥が遅くなり、白華の危険性があります。

エアコン・オイルヒーターなどの湿気の発生しないもので採暖する必要があります。

(薪・石油燃料を使用した採暖方法は、塗面が黄変しやすいので避けてください。)

施工後1～2日、表面が乾くまでは部屋温度が昼夜を通し15℃以下にならないように採暖してください。

(エアコン・オイルヒーター等で、直接風が当たらないように注意してください。)

開口部は、風が入らないように養生してください。

ただし、湿気がこもらないように、時々湿気を逃がしてください。

扇風機で風を回しながら採暖すると、乾燥が早くなります。

2. 基準水量と攪拌時間について

練り水は、冷水(10℃以下)を避けてください。

基準水量を守ってください。水が多すぎると、白華しやすくなります。

練り始めは水が少ないと感じますが、5分以上練っていると塗りやすい硬さになります。

材料が締まって練り戻すときは、水を加えず攪拌機で練り直してください。もとの硬さに戻ります。

今後に生かす失敗例(下地編)

失敗例 1

石膏ボード下地の状態があまり良くなかったが、そのまま施工した。



ひび割れが発生してしまった。



下地の状態がよくない場合、現場管理者と相談し、手直したうえで、施工してください。

失敗例 2

リフォーム工事で、天井のプリント合板やジプトーン(化粧石膏ボード)を剥がさずに下地処理もせずに施工した。



天井全面にアクが出てきてしまった。ジョイント部分にひび割れが発生してしまった。



天井下地を組みなおし、石膏ボードを貼りなおして、施工してください。

失敗例 3

下地ボードのジョイント部分がV溝加工されていないが、そのまま施工した。



ジョイント部分にクラックが入ってしまった。



下地ボードのジョイント部分は、必ずV溝加工を施し、ジョイント処理をしてから、仕上材を施工してください。

失敗例 4

石膏ボードの入隅をコークボンドで処理をした。



入隅にクラックが入ってしまった。



入隅処理は、必ず専用ジョイント材(PJ)とグラスファイバーテープを使用し、施工説明書通りに施工してください。

失敗例 5

ジョイント処理を、クロス用のパテを使用した。



ジョイントの下地処理が透けてしまった。一部には、クラックも発生してしまった。



施工説明書通りに、専用ジョイント材(PJ)とグラスファイバーテープを使用してください。

失敗例 6

ベニヤにアク止め処理をせずに、仕上材を塗った。



全面にアクが出てしまった。



ベニヤ下地の場合、HYMJ3倍液を塗ってからアク止め・シミ止め材(KS-1)を塗り、市販アク止めシーラー剤で下地処理をしてください。

今後に生かす失敗例(準備・塗り編)

失敗例 7

練りにくかったので、基準水量よりも多い水で練った。



色ムラ・ジョイントパテの透け・テカリ・粉浮きが発生してしまった。



基準水量の厳守を徹底してください。

失敗例 8

練るときに、藻々太郎を先に入れ、後から清水を入れて練った。それも十分に攪拌しなかった。



攪拌不足のために、色ムラ・テカリが発生してしまった。



練るときは、必ず清水を先に入れ、攪拌しながら藻々太郎を入れてください。5分攪拌し、練り置き5分後2分攪拌してください。

失敗例 9

前回、良く洗わずにかたづけした混合用バケツを使い藻々太郎を施工した。



色ムラが発生してしまった。



同じ道具を使い違う色の材料を使用する場合は、必ず道具を良く洗ってください。前の色が少しでも残っていると、色ムラの原因になります。

失敗例 10

樹脂系塗材と同じような感覚で、重ね塗りをした。部分的に塗りなおした。



色ムラが発生してしまった。



基本的には、乾き始めてからの重ね塗り・部分塗りは避けてください。色ムラの原因になります。

失敗例 11

出隅や入隅の始末をする際に、水をつけて面を押えた。



出隅や入隅の面が白く色ムラが起きてしまった。



水をつけてしまうと、その部分だけ水分量が変わり、色ムラになってしまいます。決して、水をつけて面を押さないでください。

今後に生かす失敗例(養生編)

失敗例 12

夏場、直射日光が当たるのに気がつかず日除け等の養生をしなかった。



急激な乾燥状態が起こり、白く粉をふいた状態になってしまった。
一部に亀の子状のクラックが発生してしまった。



急激な乾燥は、ドライアウトの原因になりますので、直射日光が当たる場所での施工の際は、日除け等の養生を行ってください。

失敗例 13

冬場、やむを得ず施工したが、早く乾かしたほうが良いと思い、暖気を直接当てた。



急激な乾燥状態が起こり、ひび割れを起こしてしまった。



暖気を直接当てることはせず、扇風機等を使い、部屋の空気を対流させて乾燥させてください。

失敗例 14

冬場施工の際、塗ったあと湿気を逃がすために窓を開けておいた。



白華現象が起きてしまった。



冬場の施工において、窓は風が入らないように閉めておき、扇風機等を使い、部屋の空気を対流させて、乾燥を進めてください。